

# 大ブレイクするホームページ



# ネタ研究所

所長: 田口 元

illustration : Ebisu Yoshikazu

大ブレイクする多くの個人ページに共通する人気の秘密は何だろうか？ 答えは簡単、企画(ネタ)に尽きる。当「ネタ研」は、ホームページ作りの「ネタ」にとことんこだわり、個人ページ作りのサポートを目的として設立された。第3回を数える今回のテーマは「楽しく更新できるホームページ」。ホームページのネタが良くても、更新が苦痛では意味がない。ホームページを作って良かった! と思えるために今回は「プチ・コミュニティの形成」をおすすめする。

第3回

## 楽しく愉快な“プチ・コミュニティ”を作ろう!



### 人間の欲求と楽しさ

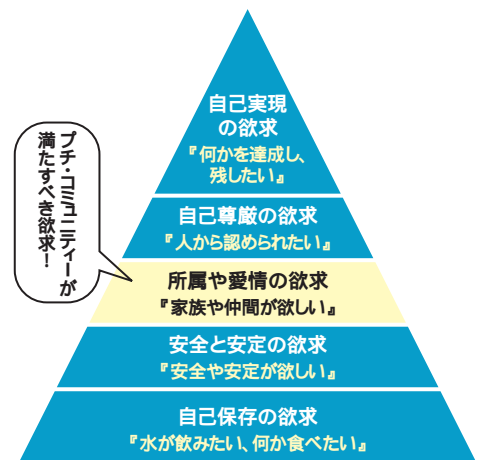
今回の「ネタ研」は、楽しく更新できるホームページの考察である。ホームページを作ったはいいが更新作業が泣くほどつらいとか、早く更新しろなんていう無言のプレッシャーを世界中から24時間感じるとかでは意味がない。楽しみながら更新できて自分もハッピー、見ている人もハッピー、それが理想だ。

そもそも「楽しい」とはなんぞやと考えるには心理学に立ち戻るのが一番だと当「ネタ研」は考える。いきなりだが、マズローの5段階欲求をご存じだろうか？ マズローは米国の心理学者で「人の欲求には段階がある」と唱えた人である。彼が唱えた段階的欲求は右図のように表すことができる。この段階の中で、今回、当「ネタ研」が狙

うのは第3段階の「所属や愛の欲求」である。なぜか？ それより下のレベルの欲求はホームページで実現するよりも現実社会で満たされるべきだろうし、それより上のレベルの欲求はホームページで満たすには仕掛けが複雑になりすぎるからだ。

では、「所属や愛の欲求」を満たして「楽しい!」と思わせるにはどうしたらいいだろうか？ それは一言で言うと「僕(私)は1人じゃないんだ!」と気付けさせることである。ホームページを通じて、今まで知り合うことのなかった、共通の興味を持った仲間を作り上げることこそ楽しいホームページ作りの真髄なのだ。

マズローの5段階欲求





# プチ・コミュニティのすすめ

この時代において個人ホームページを通じて形成する仲間たちを、当「ネタ研」では「プチ・コミュニティ」と命名する。世の中にコミュニティサイトは数あれど、プチ・コミュニティが「プチ」であるゆえんは、その規模と狙いにある。個人ホームページである以上、あまり大きな仕掛けを最初から作ることは難しい。だったらひどく範囲を狭めて濃い〜分野でゲリ拉的にコミュニティを形成しようではないか、というのがその発想である。この「プチ・コミュニティ」を創るには、次のようなモデルを意識するとよい(下図参照)。

このモデルで一番難しいのは「題材選び」である。題材は他の人が「強く」共感してくれるテーマであればあるほどよい。逆に、多くの人に共感してもらう必要なんてまったくない。「強く」共感を持ってもらうことが一番だ。「そうそう!」なんて感嘆符付きで感想メールが舞い込んでくるような、そんな題材を選びたい。

いったん題材を選べれば、あとはもう雪ダルマ式にプチ・コミュニティが大きくなっていくはずだ。君の題材に共感した人が君のホームページをたびたび訪れるようになる。たまにはメールなんかくれちゃったりし

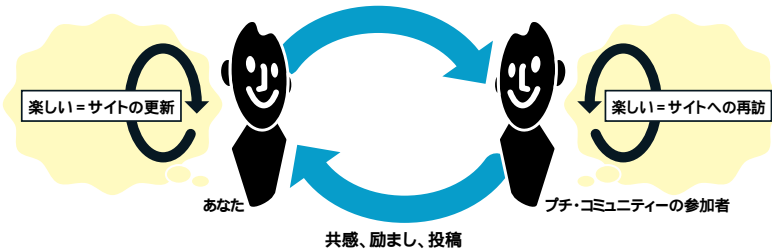


て君のホームページの更新を促す。「よくぞ言ってくれた。君こそ我々の仲間だ!」なんてシグナルを感知した君は、マズローが言うところの「所属や愛の欲求」を刺激され、更新への活力にみみぎることになる。「よ〜し、やるぞお!」なんて勢いで更新したホームページを見た別の人がまた感想メールを.....。

こうしてうまくサイクルが割ればこちらのものである。あとは「楽しい!」という感情をバネにホームページをより充実したものにしていければいい。きつとうまくいく。新しい仲間が助けしてくれるからだ。

## プチ・コミュニティのサイクル

強く共感を持てるプチ・コミュニティの題材



## ネタ研究 # 3

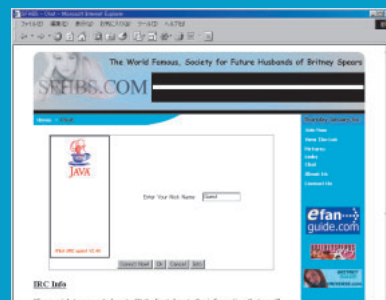
# 究極のプチ・コミュニティ 「S.F.H.B.S.」

Jump [www.sfhbs.com](http://www.sfhbs.com)

所長の考える究極のプチ・コミュニティは、この「S.F.H.B.S.」である。「S.F.H.B.S.」は「Society for Future Husbands of Britney Spears」(将来ブリトニー・スピアーズの夫になる人の会)の略である。ブリトニー・スピアーズといえば米国のスーパーアイドル。その美貌と幼少時から鍛えた歌唱力、力強くソウルフル(死語?)なダンスで名実共に米国のティーンエイジャーの中ではダントツの人気を誇る。このホームページでは、そんなブリトニーと将来結婚したい!という人がプチ・コミュニティを形成している。完璧としか思えない女性と結婚したい!という男の永遠の夢をひたすら追求する「濃い〜」ホームページなのである。このホームページに公開されているメンバーリストにはひたすらブリトニーへの賛美の言葉が書き綴られており、「ブリトニーは人間の姿をした天使だと僕は強く信じている」など、メンバーの真剣さがうかがえる。想像して楽しいかと言われればこんなに楽しいことはないという題材をうまく活かしたプチ・コミュニティだと言えるよ。



ブリトニー・スピアーズと言えば米国の超アイドル。



チャットルームでは、ブリトニーと結婚したい人が夜な夜なチャットを繰り広げる.....。Jump [www.sfhbs.com/chat/](http://www.sfhbs.com/chat/)



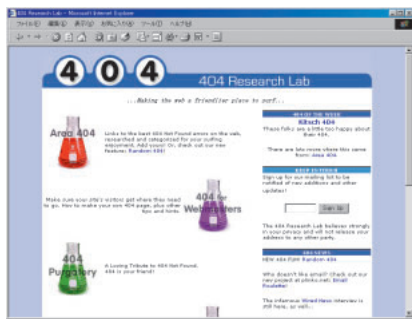
# 世界のプチ・コミュニティー！

世界中にはすでにプチ・コミュニティーを作り上げ、(多分)愉快地にホームページ作りを楽しんでいる人たちがいる。ここではそんな愉快なプチ・コミュニティーを紹介してみたい。「ホームページを通じて仲間を作ることって楽しそうだなあ」なんて雰囲気味わってもらえれば幸いである。

では、はじまり、はじまり。

## 「なんだよ、ページないじゃんかよ！」

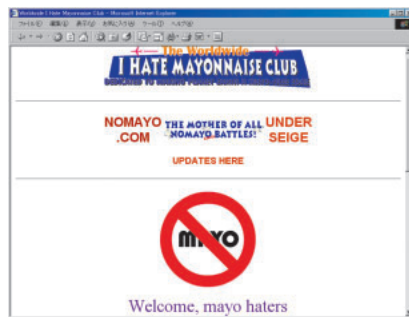
このプチ・コミュニティーはネットサーフィンなどをしているとたまに出くわす「404 Page Not Found (ページが存在しません、というエラーメッセージ)のページを集めたものである。この「404 Page Not Found」メッセージは、ホームページによっては実にクリエイティブなページを用意している。動画を駆使してエラーメッセージを表示したり、ウィットのきいた写真を用意したりしているところもある。そんな「404ページ」をみんなで探して楽しもうじゃないですかというのが、この狙いである。インターネット上で誰もが出くわす「404ページ」を題材に、ちょっとしたひねりを加えれば楽しいプチ・コミュニティーが作れる良例だ。



404 Research Lab  
www.plinko.net/404/  
愉快な「404ページ」が満載である。

## 「あれが嫌い」

次のプチ・コミュニティーはさらに「濃い」。ここは「マヨネーズ大嫌い」人間が集まるホームページである。ちなみに所長は米国の無脂肪マヨネーズが嫌いだ。日本と同じマヨネーズとは全然思えない。そんなことはいいとして、同じような怒りを持った人が集まるこのプチ・コミュニティーには、世界中から「マヨネーズ許せない！」レターが届けられ、ホームページ上で紹介されている。マヨネーズという身近な題材であっても取り扱い方によってはプチ・コミュニティーが形成できるという良い例だ。

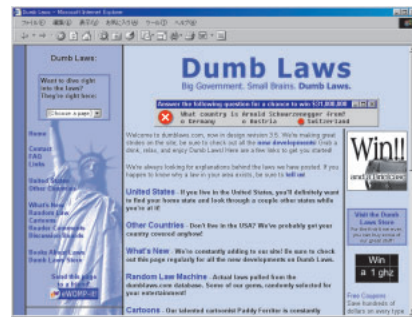


No Mayo!  
www.nomayo.com  
このサイトでは「マヨネーズ反対の会」の会員証も入手できる。

## 「こんな法律必要かい？」

このプチ・コミュニティーには「この法律、一体全体、何のためにあるんだ？」という強い疑問を持った人たちが集まる。ここではちょっと理解しがたい奇妙な法律を紹介しているのだ。たとえば、アラスカ州の法律では「熊は撃ってもよいが、写真を撮るために寝ている熊を起すてはいけない」とある。また、テキサス州の法律では

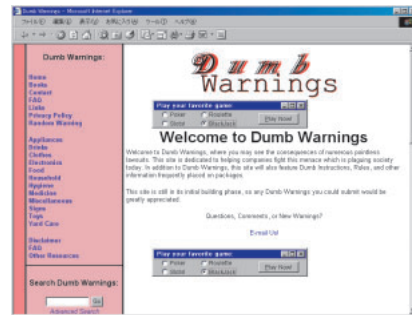
「車のワイパーがないと違法である。フロントガラスはなくてもいいが、ワイパーは必ずなくてはならない」などなど。間接的表現に過ぎるのか、時代錯誤なのかよくわからないが、実際にあるのだからおもしろいには違いない。そうした法律を題材に楽しんじやいましょうという人が集まって、プチ・コミュニティーを形成しているのだ。



Dumb Law  
www.dumblaws.com  
中国には「大学に行くためには頭がよくなくてはいけない」なんて法律もあるみたい。

## 「こんな警告も必要かい？」

奇妙な法律もおもしろいが、「専門外だし、もっと身近な題材がないのか」と思った人にはこちらがおすすすめだ。ここは家電製品などに付いている警告や注意事項に関するプチ・コミュニティーである。これまたなんでそうなるの? という警告、注意事項が並ぶ。ドライバー使用時の注意事項として「寝ている時は使わないでください」とか、「このマットレスは飲み込まないようにご注意ください」などなど。さっぱりわけがわからないし、愉快には違いないが……。



Dumb Warning  
www.dumbwarnings.com  
左側からカテゴリーを選ぶと意味不明の警告、注意事項が。

## 「英語まちがい」

こちらはちょっと日本をおちよくるようで気が引けるのだが、反面教師ということでご紹介。このプチ・コミュニティーは、日



本製品に添えられた英語表記の間違いが投稿されている。EnglishではなくてEngrish。これは日本人が「L」と「R」の区別が不得意であることに由来している。商品説明のちょっとした英語やTシャツなどによくある英文のうち、英語的におかしなものをよってたかって笑い飛ばしましょうというプチ・コミュニティである。ここを見ていると英語は正しく使わなくてはな、と身が引き締まる思いがしたりする。



Engrish  
[www.engrsh.com](http://www.engrsh.com)  
 楽しげではあるが、日本人としてはちょっと複雑。

### 「出会い系サイトに行ってはみたが」

おおっぴらには言えないけれど、出会い系サイトはインターネット上の定番サイトの1つである。ただ、体験した人すべてが思いをするわけではなく、そこではさまざまな愛憎感情がぐるぐると渦巻いていたりする。メールを出してみたがまったく予想もしなかったような返事が来たなんていうのは日常茶飯事だ。匿名が生み出す「感情の歪み」とでも言おうか。誰にでもそんな経験はあると思うのだが、そういった「感情の歪み」をそのままプチ・コミュニティの題材にしてしまった人もいる。ここでは出会い系サイトに「恋人募集！」の広告を掲載した女性がどんなメールを受け取っ



たか、それをホームページ上に公開している。誰にでも経験があるのだが、今まで誰も取り上げなかった題材を採用したところがなかなかである。

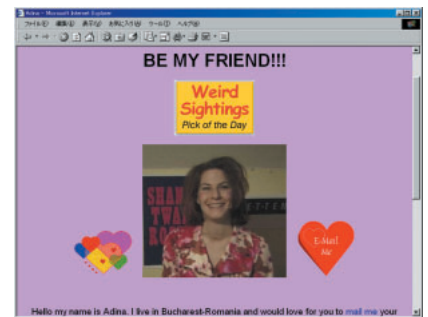


Way Too Personal  
[www.waytoopersonal.com](http://www.waytoopersonal.com)  
 この人にはメールを送るのはやめておきましょう。公開されちゃいます。

### 「最後の手段……」

さて、どうしても題材が見つからない人は最後の手段として、ものすごく正直に「私は友達か欲しいんです！」と世界に向けて叫ぶのもいいかもしれない。ここはサンドラ・ブロック似のルーマニアの女性が「とにかくメールください！」と訴えかけているホームページである。自作の紹介ビデオが

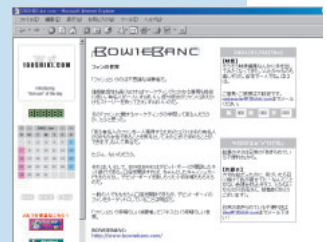
かなり微笑ましく、元気いっぱい自己アピールしている。ビデオの中では、馬に枯れ草を食べさせたり、ギターを弾いてみたり、彼女の芸達者ぶり(?)もさりげなく披露している。「仲間が欲しい！」という気持ち自体をプチ・コミュニティの題材にしてしまった、実に独創的なアプローチだ。



Be My Friend Video  
[www.8.50megs.com/niceadina/](http://www.8.50megs.com/niceadina/)  
 「友達欲しい！」と100%の笑顔!

### 所長(筆者):「百式管理人」 田口 元

[www.100shiki.com](http://www.100shiki.com)  
 1日1社、ユニークなビジネスモデルを展開する海外のドットコム企業を紹介するサイト『百式』を運営中。同サイトではコンテンツを無料配信するメールマガジンも展開。最近、だいぶ昔から愛用していたPalmが日本でも普及してきたのでちょっとうれい日々。おかげでPalmが弱いと言われていた日本語の処理機能も大分充実してきた。今日もスターバックスでラテをすすりながらPalm + 折り畳み式キーボード + ATOKで原稿書きにいそしむ。幸せです。



## 次回は最終回

今回は楽しいホームページ作りをするためにプチ・コミュニティの形成を読者の皆様におすすめた。ぜひ、今回の研究結果を参考に、自分が無理せず手掛けられる題材を見つけてほしい。所長も「ドットコム企業」を題材として個人ホームページを昨年オープンしてみたが、仲間が増える、増える。楽しくてしょうがない毎日である。ぜひ、この楽しさを読者の皆様にも

味わってほしい。さて、当「ネタ研」も次回が最終回。最終回は例によって海外サイトの具体例を紐解きつつ、「キャリアアップのためのホームページ」を考えてみたい。この情報化社会において、ただ漠然と個人ホームページを作っていたのではもったいない。なんとかして自分の人生に役立つような、そんなアプローチを研究してみたい。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)